

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9  
TEL: 03-3259-3111(代表)  
www.ms-ins.com

2016年10月19日

## インドネシア「熱帯林再生プロジェクト」の第Ⅲ期がスタート

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、インドネシア共和国における熱帯林再生プロジェクトの第Ⅲ期を2016年4月からスタートさせ、10月3日に現地（ジャワ島ジョグジャカルタ特別州）で記念式典を開催しました。

当社は、2005年からインドネシア共和国環境林業省と連携して、不法伐採により劣化したパリヤン野生動物保護林の修復・再生プロジェクト（以下、「パリヤンプロジェクト」）を進めてきました。第Ⅰ期では保護林の修復・再生のための植林に、第Ⅱ期では地元住民の農業収入向上のための支援プログラムの提供等に重点を置いて活動してきましたが、新たにスタートした第Ⅲ期では、地元住民にファルカタ等の苗木を配布し、植林・育林方法を指導する予定です。地元住民による産業利用を目的とした植林を普及させることで、「森林の再生と持続可能な地域社会の形成」を目指します。

三井住友海上では、今後も広く国際社会への貢献を目指し、「パリヤンプロジェクト」を推進していきます。

### 1. 「パリヤンプロジェクト」の概要

インドネシア環境林業省が、初めて日本の民間企業と連携した「熱帯林再生プロジェクト」です。本プロジェクトは、住友林業株式会社（社長：市川晃）の技術支援のもと、不法伐採により劣化した保護林の修復・再生と地元経済への長期的な貢献を目的としており、当社とインドネシア環境林業省、ジョグジャカルタ特別州政府、ガジャマダ大学の4者が産官学連携で進めています。

### 2. 第Ⅲ期について

- (1) 期 間：2016年4月～2021年3月（予定）
- (2) 目 的：森林の再生と持続可能な地域社会の形成

支援プログラムの内容	
住民協働型の植林（新規）	ファルカタ等の苗木を住民に配布し、植林・育林方法を指導する。産業利用を目的とした植林を普及させることにより、新たな収入源を生み出し、不法伐採を防ぐ。
農業協同組合の自立化促進	既に設立された農業協同組合の自立的な発展に向けて、組合活動の進捗確認・指導を実施する。
森林管理体制のフォローアップ	プロジェクトの拠点となるセミナーハウスの維持管理、フォーラム（保護林を管理する組織）の運営支援、モニタリングを行う。
環境教育 など	委託先のガジャマダ大学による小学校教師への環境教育を実施する。



<ジョグジャカルタ特別州知事から感謝状を受領>

### 3. 第Ⅰ期・第Ⅱ期の活動

(1) 作業範囲：パリヤン野生動物保護林内の350ha

(2) 実績：ジャワ島在来種を中心に、果樹を含む30樹種・約30万本を植樹

	期 間	特徴的な取り組み
第Ⅰ期	2005年4月～ 2011年3月 (6年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護林内で耕作する農民と共存するアグロフォレストリー方式※の採用。</li> <li>・不法伐採を繰り返さないための、地元の子供たちを対象にした啓発授業や寄付活動。</li> <li>・地元大学と連携した定期的なモニタリング調査および森林回復度(成熟度)の科学的な検証。</li> </ul> <p>※樹木が成長する間、人々の暮らしを潤すため、短期間で収入が得られる農作物の栽培と植林を組み合わせる方法</p>
第Ⅱ期	2011年4月～ 2016年3月 (5年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元大学による鳥と昆虫を指標とした生物多様性モニタリングの継続実施と、森林の生態系回復状況の観察。</li> <li>・地元住民の農業収入向上のための、農業技術支援。</li> <li>・森林再生を担う次世代の人材育成を目的とした、小学校教師向けの環境教育。</li> <li>・保護林の保全および活用に関するステークホルダーとの協議。</li> </ul>



<2005年>



<2010年9月>



<2016年1月>

以 上